

再評価結果(平成16年度事業継続箇所)

担当課:道路局国道・防災課
担当課長名:中島 威夫

事業名 一般国道58号 恩納バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 沖縄総合事務局		
起終点 自:沖縄県恩納村字瀬良垣 至:沖縄県恩納村字南恩納	延長 5.1km			
事業概要 一般国道58号は、沖縄本島西側を南北に走る大動脈で、本島中南部の人口集中地域と北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ主要幹線道路である。恩納バイパスは、美しい海岸線が続き、リゾートホテル、ビーチなどが集中している本県有数のリゾート地である恩納村内の夏場の観光シーズンにおける交通渋滞の緩和、沖縄自動車道へのアクセス向上による沿道環境の改善、観光産業の支援に大きく寄与する道路である。				
H元年度事業化	都市計画決定 不要	H6年度用地着手		
全体事業費 約270億円		事業進捗率 71%		
計画交通量 38,600台/日		供用済延長 0km		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 5.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 75/294億円 事業費 :58/277億円 維持管理費 :17/17億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,562/1,562億円 走行時間短縮便益:1,583/1,583億円 走行費用減少便益: -6/ -6億円 交通事故減少便益: -15/ -15億円	基準年 平成15年度
	(残事業) 21.0			
事業の効果等 円滑なモビリティの確保(並行する現道区間の渋滞損失時間が削減する) 物流効率化の支援(農林水産品の流通の利便性の向上が見込まれる) 他4項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見 恩納バイパスの整備により、夏季観光シーズン・休日・祝祭日等の交通渋滞の緩和、沿道環境の改善、観光産業の支援が期待されることから、恩納村を含む北部12市町村で構成される北部市町村会及び北部振興会等より、整備促進要望(平成15年12月)を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 国道58号現道部については交通量が増加しており、一層の整備促進が求められている。 (交通量T'85=14,960台/日 T'99=20,450台/日 混雑度K'99=1.74)				
事業の進捗状況、残事業の内容等 全体事業費での進捗率は71%であり、用地買収の進捗率は96%である。 今後は、残事業の橋梁工事(9橋中残り4橋)及び改良工事(1.4km)について事業進捗を図る。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成14年度の日米合同委員会において、恩納バイパスに係る米軍基地の返還合意がなされ、現在、関係機関と返還手続き中。 今後は、平成18年度の全線暫定供用に向けて事業進捗を図る。				
施設の構造や工法の変更等 深礎杭を従来のライナープレートからモルタルライニングへ変更する等コスト縮減を図る。				
対応方針 事業継続				
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図				
<p>The map illustrates the Enna Bypass project route, starting from Enna Village (恩納村) and extending 5.1 km to the coast. Key locations marked include Anago (安富祖), Enna (恩納), and various landmarks like the Enna River (恩納川) and Enna Bay (恩納湾). The map also shows the existing road network and the proposed bypass route. A legend in the bottom left corner defines the symbols used for the project status: a solid red line for '供用中' (In use), a dashed red line for '事業中' (Under construction), a dotted red line for '再評価箇所' (Re-evaluation area), and a red circle for '調査中' (Under investigation).</p>				

